

# 滋賀文教短期大学 国文学科「教育目的」、「教育目標」、「3つのポリシー」の関連図

学校法人 松翠学園

○教育理念 「教育は人にあり、国家の未来は教育にかかっている。教育の向上には、まず、教育者の養成が重要である。」

滋賀文教短期大学

○建学の精神 「知育」・「徳育」・「体育」の鼎立と調和の取れた人間形成

国文学科

○教育目的 国文学科の教育課程で身につけた幅広い知識と教養をもって社会で自立できる人材を養成することを教育目的とする。

教育目標	学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)	入学者受け入れ・実施の方針 (アドミッション・ポリシー)
①確かな倫理観と使命感を規範に、様々な課題に対する解決に取り組むことができる主体性を身につける。	<p><b>【主体性】【倫理観・使命感】</b></p> <p>≪主体性及び倫理観・使命感に関する学修成果を身につけている。≫</p> <p>本学の学修で獲得した力(DPに定める力)をもって社会で自立するために、<b>主体性</b>は最も重要な力です。自ら挑戦し、成功や失敗の経験を繰り返すことで生涯成長し続けることができます。</p> <p>また、主体的な行動の規範になるのは、人としての<b>倫理観</b>と、社会人としての<b>使命感</b>です。</p> <p>&lt;学修成果(できるようになること)&gt;</p> <p>① 自らの意思で考え行動することができる。</p> <p>② 生涯にわたり、学び続ける姿勢を持つことができる。</p> <p>③ 倫理観と社会で自立しようとする使命感を持つことができる。</p>	<p>&lt;編成の方針&gt;</p> <p>国文学科は、学生がディプロマ・ポリシーを達成し、学修成果を獲得できるように、次のような教育課程を編成します。</p> <p>① 学修や社会参画への<b>主体性</b>及び社会で自立しようとする<b>使命感</b>を向上させるための科目を設置し、必修とします。</p> <p>② <b>倫理観</b>を育むため、今日に至る日本人の考え方や文化を学ぶことのできる科目を設置します。</p> <p>③ 建学の精神に基づく本学が目指す人材像の理解と、大学で学修するための基礎的な<b>知識・技能</b>及び態度を身に付けるため、1年次春学期に初年次教育科目を設置し、必修とします。</p> <p>④ <b>専門的な知識・技能</b>を身につけるため、専門科目を段階的・体系的に設置します。</p> <p>⑤ 学問への探求活動と身につけた学修成果を総合的に活用するため、「ゼミ」を設置し、必修とします。</p> <p>⑥ 職業人としての基礎的な力を身に付けるため、リテラシー能力や基礎的なICT技能を学ぶことのできる科目を設置します。</p> <p>⑦ 職業人としてより専門的な力を身に付けるため、「図書館司書」「実践キャリア実務士」「認定絵本土」の資格取得に関する科目を設置します。</p> <p>&lt;実施の方針&gt;</p> <p>国文学科は、学生がディプロマ・ポリシーを達成し、学修成果を獲得できるように、次のように教育に取り組みます。</p> <p>① <b>主体性</b>と自己肯定感が高められるように指導します。</p>	<p>&lt;受け入れの方針&gt;</p> <p>国文学科は、文学、文化、歴史などに興味がある人はもちろん、学びを通して社会人としての素養を身につけ、将来は幅広い分野で活躍したいと考える人に入学してほしい学科です。</p> <p>国文学科では、単に文学だけを学ぶのではなく、文学の学びを通して身につけた力をもって、社会で自立できる人材になれることを目的としています。そのため、社会人として求められる幅広い力や、キャリア形成に役立つ力を養成するための教育課程が設定されています。</p> <p>このようなことから、国文学科では以下の能力や態度を身につけている学生を受け入れます。</p> <p>① 日本語、日本文学・文化、司書資格など国文学科での学びに対して意欲・関心を持っている人〔意欲・関心〕</p> <p>② 日本語、日本文学・文化、司書資格など国文学科で学ぶための基礎学力を身につけている人〔知識・技能〕</p> <p>③ 目標に向かって課題を明らかにし、改善に向け主体的に取り組む意欲を持っている人〔主体性・課題発見力〕</p> <p>④ 自身の考えを客観的・論理的に表現する力を身につけた人〔思考力・判断力・表現力〕</p> <p>&lt;実施の方針&gt;</p> <p>国文学科では、次の力を多面的・総合的にはかることを重視した選抜方法を設定し、その方法と配点は募集要項等に示します。</p> <p>これらの人材を広く求めるために、多様な入学試験を実施します。</p> <p>① 滋賀文教短期大学の建学の精神を体現できる素養</p> <p>② 国文学科の入学者受け入れの方針</p>
②日本文学・文化及び日本語についての幅広い知識と教養を身につける。	<p><b>【専門性】【知識・技能】</b></p> <p>≪専門性及び知識・技能に関する学修成果を身につけている。≫</p> <p>文学・文化・日本語の学修で身につく<b>専門性</b>や<b>知識・技能</b>によって、リテラシー(読み書き等の力)や教養(社会人として必要な広い知識や品位)を高められます。リテラシーや教養は、情報を正確に理解し活用することを可能とし、この力によって、これから社会がどのように変化しようとも、課題の解決に努めることができます。</p> <p>また、文学・文化・日本語を学修することは、古今多くの英知に触れることであり、それらの知識・技能が自身の世界を拡げ、生涯成長していくことを助けてくれます。</p> <p>&lt;学修成果(できるようになること)&gt;</p>	<p>&lt;実施の方針&gt;</p> <p>国文学科は、学生がディプロマ・ポリシーを達成し、学修成果を獲得できるように、次のように教育に取り組みます。</p> <p>① <b>主体性</b>と自己肯定感が高められるように指導します。</p>	<p>&lt;実施の方針&gt;</p> <p>国文学科では、次の力を多面的・総合的にはかることを重視した選抜方法を設定し、その方法と配点は募集要項等に示します。</p> <p>これらの人材を広く求めるために、多様な入学試験を実施します。</p> <p>① 滋賀文教短期大学の建学の精神を体現できる素養</p> <p>② 国文学科の入学者受け入れの方針</p>

	<p>① 文学・文化・日本語に関する基礎的な知識・技能を身につけることができる。</p> <p>② 文学・文化・日本語に関する基礎的な知識・技能を社会生活に役立てることができる。</p> <p>③ 読解を通じ、物事の本質や背景を理解しようとすることができる。</p> <p>④ 生涯にわたり、成長を可能とする幅広い教養を身につけることができる。</p> <p>⑤ 情報を収集し、分析することができる。</p> <p>⑥ ICTを初歩的に活用することができる。</p>	<p>② 演習科目を中心に、体験的な学修を通じた教育を行います。また、地域と連携し、実践的な学修機会の提供に努めます。</p> <p>③ 学修を通じ身につけた総合的な力を発揮させながら成長していく「基礎力プログラム」においては、国文学科の全専任教員が関わり合いながら、プログラム全体を検討し、指導します。</p> <p>④ 「ゼミ」においては、複数の専任教員で分割担当し、教員や学生同士の学び合いによる主体的な学修を促進させます。</p>	<p>③ 学力の三要素（(1)知識・技能、(2)思考力・判断力・表現力、(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）</p>
<p>③柔軟かつ適切な思考力・判断力と、それらを表現できる能力を身につける。</p>	<p><b>【思考力・判断力】【表現力】</b></p> <p>＜思考力・判断力及び表現力に関する学修成果を身につけている。＞</p> <p>文学・文化の鑑賞が人間や社会についての理解を深め、様々な教養を自身の思考や規範として形成することができます。それらを通して深められた<b>思考力</b>や<b>判断力</b>は、あらゆる社会生活において助けとなります。</p> <p>また、自らの考えをはじめとする様々な事柄を言葉によって適切に表現し相手に伝える<b>表現力</b>は、本学での学修を着実にやり、社会生活を円滑に営むために欠かせない能力です。</p> <p>＜学修成果（できるようになること）＞</p> <p>① 豊かな想像力と共感の力を身につけることができる。</p> <p>② 状況に応じて適切な判断を行うことができる。</p> <p>③ 自らの考えや意見を適切に表現することができる。</p>	<p>⑤ 授業の質の向上と学修支援のため、ICTを積極的に活用します。</p> <p>⑥ <b>思考力・判断力</b>を高めるため、論理的な思考をもって自らの成果を導き出せるように指導します。</p> <p>⑦ <b>表現力</b>を高めるため、学修成果をアウトプットする機会を積極的に設けます。</p> <p>⑧ <b>課題発見力</b>や<b>課題解決力</b>を高めるため、PDCAの学修サイクルに基づいた教育を実践します。</p> <p>⑨ 特に<b>コミュニケーション力</b>や<b>協働力</b>を高めるため、グループワークや発表などの実践を取り入れながら指導します。</p> <p>＜評価の方針＞</p> <p>アセスメント・プランに基づき、適正に評価します。詳しくは、アセスメント・プランを参照してください。</p>	
<p>④課題を適切に捉え、課題解決に向けて着実に実践できる力を身につける。</p>	<p><b>【課題発見力】【課題解決力】</b></p> <p>＜課題発見力及び課題解決力に関する学修成果を身につけている。＞</p> <p>自己の責務や成長に対して常に向上心を持ち、課題や改善点を発見及び分析できる<b>課題発見力</b>と、その課題や改善点に対して、適切な解決策をもって着実に改善に取り組むことのできる<b>課題解決力</b>によって、生涯学び続け自立した社会人として成長していけることができます。</p> <p>＜学修成果（できるようになること）＞</p> <p>① 自己の成長について向上・改善に努めることができる。</p> <p>② 現状を分析し課題を明らかにしようとすることができる。</p> <p>③ 課題解決や改善に粘り強く取り組むことができる。</p>		

	<p>⑤多様な人と良好な人間関係を構築し、課題に対して協働できる能力を身につける。</p>	<p><b>【コミュニケーション力】【協働力】</b></p> <p>《コミュニケーション力及び多様な人と協働する力に関する学修成果を身につけている。》</p> <p>文学・文化・日本語の学修でリテラシー（読み書き等の力）や教養を高めることは、<b>コミュニケーション力</b>を養うことにつながります。言葉の意味や行間を解釈し、適切な言語で物事を伝えることで相互理解は深まり、多様な人と良好な関係を築くことができます。</p> <p>また、それらのコミュニケーション力と、多様な人に働きかけチームとして成果を上げることのできる<b>協働力</b>によって、個人では解決できない課題に対しても立ち向かうことができます。</p> <p>&lt;学修成果（できるようになること）&gt;</p> <p>① 適切な言葉を用いて多様な人とコミュニケーションを図ることができる。</p> <p>② 多様な人と関わる中で共通の目的・目標や課題を見つけることができる。</p> <p>③ 課題に対して多様な人々と協働することができる。</p>		
--	---	--	--	--